

フランス

Vol.1 フランスの“味” 日本の“味”



今回からは、フランス生まれで現在は日本に住むロヴィザ・リオネルさんにお話をうかがいました。

年齢はおいくつですか？

21歳です。

出身国と、住んでいたところについて教えてください。

出身国はフランスです。

私が住んでいたのは南フランスのサールスポアという人口150人くらいの田舎町です。ここは大変緑や畑が多く、ラベンダー工場がたくさんあります。

また、この町にセカンドハウスを持つ人が多く、夏になるとたくさんの方が訪れます。



家族構成を教えてください。

フランスには両親と兄、それと祖父母が暮らしています。

今わたしの住んでいる家では、わたしの妻と義母、義兄とその奥さんと一緒に暮らしています。



日本で暮らしてみて感じたこと、大変だったことはなんですか？

まずはやはり食べ物です。食べたことのないものばかりで、どんな料理にも醤油を使っているのもとても不思議な味でした。

あとは、どこに行っても混んでいること。特に電車は異常に混んでいて、あんなにたくさんの方がどうやってあのスペースにおさまるのが、初めはとても不思議でした。

最後に野球。フランスには野球が無いので、野球中継のせいで自分の見たいTV番組がつぶされたり、遅くされたりすることでも驚きました(笑)



暮らしてみてどんなところがいいなと思いますか？

フランスでは日曜日には全てのお店が閉まってしまうけど、日本では毎日、さらに24時間お店が開いているところもあり、とても便利です。

それに、どこいってもサービスが良く、親切に対応してくれるのが嬉しいです。

日本とフランスを比べて『これは違うな』と思うこと、驚いたことはなんですか？

そうですね、たくさんあるのですが、まずは、食べ物は異常に高く、電化製品は異常に安いこと。仕事の面では、皆いつも働いているし、休みが全然無いことです。フランスは1週間に35時間しか働けないので、残業は基本的にありません。1ヶ月の休みをとることもできます。

食事の面では、よくいわれている“麺”の食べ方ですね。フランスでは音を立てて食べるのはタブーとされているのでとても驚きました。

それと外出したときに、電車やバスで男性が女性に席をゆずらない事に驚いたことを覚えています。

あとはそうですね、日本の夏！気温はフランスの方が高いのですが、何よりもあのじめじめとした暑さには本当に驚きました。「息が出来ない！」って思いましたよ(笑)

その他にも、家同士がびったりとくっついて建っているのも驚いたし、夜はネオンで何時まででも街が明るいことにも驚きました。

では、日本に来て感動したことはありますか？

色々ありますが、やはり一番は、『着物』です。初めて見たときは本当に感動しました。あんなにキレイなものなんだから、日本の女性はもっと普段の生活で着物を着ればいいのに、と思います。

それと、温泉ですね。あの気持ち良さはなんとも言えません。フランスには温泉や公衆浴場などが無いので、はじめは少し抵抗があったのですが、今はもう温泉の大ファンです。



それぞれの国に住んでみて初めて気づく文化の違い。日本に住んでいるとなかなかわからないことですが、外国の方に聞くと逆に驚かされることもあります。

今回はフランスのお誕生日についてお届けします。

フランス



Vol.2 誕生日～大人になる歳は？～

今回も、日本に住むフランス人のリオネルさんから、『お誕生日』についてインタビューしました。

お誕生日のケーキの定番はありますか？

特に定番というのはないので、何でもOKですが、お誕生日に限らず“お祝い事”にはケーキが欠かせません。特に、わたしの叔父がパン屋さんだったので、お誕生日などには特別にケーキを作ってくれました。また、わたしの住んでいた町では学校でもお誕生日のお祝いをする習慣があったので、学校に持って行く大きなケーキを作ってもらったこともあります。家族や親戚の誕生日の時も、それぞれユニークなケーキを作ってくれるので、みんなでそのケーキを囲んでお祝いします。



2歳の誕生日



親戚に赤ちゃんが生まれた時のお祝いのケーキ



5歳の誕生日の時学校に持って行ったケーキ



消防士をしている従兄弟の18歳の誕生日ケーキ



叔母の40歳の誕生日ケーキ

また、ケーキには写真のように小さなシュークリームがたくさん使われていることがあるのですが、これは、大人数でお祝いをするときに、1人ずつ取り分けやすいようになっていると聞いたことがあります。

それに、日本と同じように、誕生日ケーキには年の数だけローソクを立てることがありますが、フランスではその時に口には出さず心の中で願い事を唱えながら火を吹き消します。一度に全部吹き消すことができたなら願い事が叶うと言われていました。



プレゼントの定番・量は？

特に定番は無いのですが、フランスでは18歳で車の免許を取ることが出来るので、18歳の誕生日には車ももらうことがあります。

離れた所に暮らす家族は？

何歳になっても、電話をしたり、カードを送ったりして、必ずお祝いします。わたしも、家族と離れて暮らしているので、その日は電話が鳴りっぱなしになります(笑)。

その他 お誕生日に関するお話があったら教えてください。

フランスではバイクを14歳から運転できるので、私が14歳の誕生日のときに、家族みんなからバイクをもらいました。自由にどこでも行けるようになり、少し大人になった感じがとても嬉しかったです。



14歳の誕生日にもらったバイク

日本での成人式と同じような歳時がありますか？

フランスには成人式のようなものはないので、日本のように決まった衣装を着ることはないのですが、18歳、20歳で家族・親戚や友達を呼んで大きなパーティーを開きます。18歳は大人に認められたお祝い、20歳からは10年ごとに大きなお祝いをするのが、慣例です。

その他成人式のようなイベントに関するお話などあれば教えてください。

フランスで大人として認められる年は18歳です。18歳になると免許も取れ、一人で車の運転をすることができて選挙の投票もできるようになります。

しかし、日本と違ってお酒とタバコは16歳からOKです。また、免許を取って5年以上経った人が付き添えば車の運転をすることも出来ます。

「大人になった」と感じる年齢は人それぞれだと思いますが、わたしが初めて「大人になった」と感じたのはやはりその16歳のときでしたね。



お祝い事には欠かせないケーキ。そのケーキにもそれぞれのシーンに合わせたケーキの形があるのでですね。

今回はフランスの最終回です。フランスの“結婚”についてお伝えします。

フランス



Vol.3 素敵なお祝いが繋ぐ家族のキズナ

今回はフランス リオネルさんの最終回です。
クリスマスと結婚式についてお話をうかがいました。

クリスマスケーキの定番はありますか？

はい。ブッシュ・ドゥ・ノエルというロールケーキが定番ですね。
それと、ケーキではないのですが、クリスマスには必ず13種類のデザートを食べます。13という数字はイエス・キリストとその使徒の数からきていたと聞いたことがあります。



メインディッシュになっているメニューは？

特にクリスマス料理ではないのですが、我が家では父が狩猟家なので、獲ってきたイノシシを使ったシチューと、母の得意料理のマグレという鴨料理が定番でしたね。

クリスマスで一番楽しいことは？

家族や友達とプレゼントを交換するのですが、毎年何を買えばよいのかわからず、クリスマス前のプレゼント探しは本当に大変です。
でも、プレゼントを探すのが大変だったからこそ、自分がもらったプレゼントの包みを開けるのが一番楽しいです。
また、5歳のクリスマスには、両親から日本のファミコンをもらいました。
それがきっかけでゲームがとても好きになり、ゲームの世界でNO.1の日本に興味を覚えたんです。
わたしは今、日本に来てゲームのプログラムについて勉強をしています。
今思うと、この5歳のときにもらったクリスマスプレゼントが、わたしの人生に大きな影響を与えたのだと思います。

思い出にのこっているエピソードなどあれば教えてください。

父親がツリー用のもみの木を切りこいたとき、もみの木の下でとても弱った猫を拾ってきたことです。名前はブブイと付けました。新しい家族の仲間入りは、猫好きの母にとって、今までで一番のクリスマスプレゼントになったと思います。

その他クリスマスに関するお話があれば教えてください。

クリスマスにはツリーを飾るのですが、その他にも飾るものがあります。
これは、キリストの生誕を意味する模型になっているのですが、中央に寝ている赤ちゃんがキリストです。
クリスマス前には、ここに赤ちゃん(キリスト)を飾りません。
クリスマス当日に、この模型の中央に赤ちゃん(キリスト)を飾り付け、キリストの誕生を祝います。



結婚式の特徴を教えてください。

わたしの町の結婚式は、結婚式の前日から始まり3日間に渡って行われます。
まずは結婚式前日。新郎新婦が別々に友人たちと集まりパーティーを開いて、独身最後の日を楽しみます。
結婚式当日は、朝からとても大忙しです。式は市役所と教会の2ヶ所で行います。市役所では市のほとんどの人が参加し、まずはその人たちの前で誓いを立てます。そのあと教会で式を行い、今度は神前で誓いを立てます。
そして、それが終わると町の広場でパーティーを開きます。このパーティーには新郎新婦の知り合い全員を招待します。(後で呼ばれなかった人がひがまないように)
さらにそれが終わったら、今度は家族や近い友人だけでパーティーをします。結婚式当日は1日ばかりですね。
そして、式の翌日になると友人たちが、色々な話を聞きに新郎新婦の元を訪れます。
ですので、わたしの町の結婚式は、日本のような厳粛な雰囲気というよりもパーティー的要素がとても大きく、人数も100人を超えることが多いです。

結婚式のケーキなどはどんなものですか？

結婚式で食べるケーキは、ピエス・モンテと呼ばれる、とても背の高いケーキです。
結婚式も大人数でパーティーをするので、やはりたくさんのシュークリームを積み上げて作るケーキになっています。



その他、結婚に関するお話を聞かせてください。

フランスでは、日本のご祝儀というものはない代わりに、“ガーター”を使った定番のゲームがあります。
花嫁の履いたガーターが、お金を出すことによって上がり下がったりするゲームです。
男性がお金を出すと、ガーターが上がっていきスカートもめくれていきます。逆に女性がお金を出すとガーターは下がっていきます。
ガーターを上げさせようとする男性達と、「花嫁の足を見せてはいけない」という意味でそれを阻止しようとする親戚の女性達は、さらにたくさんのお金を出していきます。
つまり、そんなやり取りを何度か続けているうちにお金が集まり、花嫁たちはそのお金をもらえるというユニークなゲームになっています。



誕生日、クリスマス、結婚式。

家族や友人、地域の人と一緒に祝いをすることで、そこに強い絆が生まれるのではないのでしょうか。